

秋のビブリオバトル

ビブリオバトルとは、発表者がおすすめの本を持ち合い、1人5分間で本を紹介し、参加者が一番読みたくなった本を「チャンプ本」として決定する書評合戦です。

11/8(月)、11(木)、12(金)の3日間、放課後、図書館にて開催しました。

16名のバトルがそれぞれおすすめする本の素晴らしさ、魅力について熱く語りました。盛況の中、白熱したバトルが繰り広げられ、発表者と聴衆とのディスカッション也大いに盛り上がりました。

紹介された本は以下のとおりです。★はチャンプ本

11/8(月)

『魔法事典』(山北篤 監修)

★『逆ソクラテス』(伊坂幸太郎/著)

2021年度本屋大賞にノミネートされた伊坂幸太郎さんの5つの短編小説集です。

★『竜馬がゆく』(司馬遼太郎/著)

幕末維新の立役者、坂本竜馬の生涯を描いた司馬遼太郎の全8巻からなる大河小説で、「小石川の100冊」にも入っています。

『絶対泣かない』(山本文緒/著)

11/11(木)

『五分後の世界』(村上龍/著)

★『伏 質作・里見八犬伝』(桜庭一樹/著)

江戸に現れる人と犬の子孫「伏」をめぐる世にも不思議な因果の世界を描いた時代小説です。

『北斗』(石田衣良/著)

『ダイナー』(平山夢明/著)

『心』(姜尚中/著)

『ドグラ・マグラ』(夢野久作/著)

11/12(金)

『削除ボーイズ 0326』(方波見大志/著)

『夜露姫』(みなと堇/著)

★『かがみの孤城』(辻村深月/著)

学校に居場所をなくしたひきこもりの7人が集められ、胸に秘めた願いを叶えるため隠された鍵を探す。2018年本屋大賞受賞作です。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』(ブレイディみかこ)

『手紙』(東野圭吾/著)

『スマホ脳』(アンデシュ・ハンセン)

